

## 吉名未来創造プロジェクト ～ わたしたちの力で吉名の町を盛り上げよう！ ～

## 1 単元のデザイン

## 本単元の目標

地域を活性化させるための取組を企画し実行することを通して、取組の実現に向けて多様な人々と協働して考え、地域活性化に向けて多くの人たちが連携して取り組んでいることを理解し、地域社会の一員としての自覚や郷土に対する愛情を高めることができるようにする。

## 単元について

本単元の主な活動は、自分たちが住む地域を活性化させる取組を企画し、実行することである。地域を活性化させるための企画を生徒自身が考え、綿密な計画を立てることで、企画する力、活動を計画・推進する力を育成することができる。また、学校運営協議会で企画を提案し、そこで受けた指摘を基に改善を図ることで、表現する力、評価する力、改善する力を育成することができる。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類となり、制限が徐々に緩和され、地域を巻き込んだ企画を実現することができる環境になった。しかし、企画を実現させるためには様々な困難がある。また、どれだけ考えていても、経験がないためにその困難に気付かず、取組を進めていく中で多くの失敗をすることも予想される。このような多くの困難や失敗に出合っても諦めずに取組を改善しながら進め、仲間や周りの地域の人々を巻き込みながら実現させることを通して、挑戦する力ややり遂げる力、地域社会の一員としての自覚や郷土に対する愛情を高めることができる。

## SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくりを

生徒が自分たちの住む町のよさや課題に気づき、活性化するための取組を企画、実行することを通して、持続可能なまちづくりに貢献していこうとする態度を養うことが期待できる。

## 児童生徒の実態

本学級の生徒に事前の意識調査を行った。「地域や社会を良くするために何かしたいと思うている」の質問に対しては88.3%の生徒が、「今住んでいる地域の行事に参加している」の質問に対しては82.3%の生徒が肯定的回答をしている。また、生徒は自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど行われなくなってしまった吉名町の祭りや自然体験、文化的体験等のイベントに対して楽しかったという肯定的な感情を伴った経験を持ち、その経験から自分たちの力で町を盛り上げる楽しい取組を実現させたいという思いをもっている。

ICT活用力及びプレゼンテーション力については、本学級の生徒は授業や学校生活の様々な場面でICTを活用して文書やプレゼンテーション資料、動画作成に取り組んだり、プレゼンテーションを行ったりしている。そのため、生徒全員が、個人でプレゼンテーション資料を作成し、基本的なプレゼンテーションはできる。

また、授業中の様子から、小グループでの話し合いは活発にできる。一方、学級全体での話し合いは十分にできるとは言えず、協働する力が十分ではない。また、アイデアを関連付ける等の整理・分析する力も十分ではない。さらに、企画の実現に向けて見通しをもって計画的に進めていくことも苦手としている。

## 指導の工夫

## (1) プロジェクト型学習

生徒が本気になる課題設定となるように、吉名町を盛り上げるための取組を数時間かけて生徒が考え、それに沿って活動を進める。

生徒がこれまでに身に付けた力を発揮し生徒主導で活動を進めることができるように、各グループに指導者を配置し、生徒の考えを引き出し、それに沿って活動するように促すファシリテーターの役割を行う。その際、教師の支援は必要最小限にする。

生徒が高い壁に出合って改善し再挑戦をすることができるように、実社会につながる場の一つとして学校運営協議会の委員の方に企画を提案し、そこで出された指摘やアドバイスを受けて改善案を考える活動を設定する。

## (2) ICT活用

本単元では、主に個別と協働の場面でICTを活用する。具体的にはインターネットで情報を検索したりアンケートを実施したりして情報の収集を行う。また、資料を作成しプレゼンテーションを行う。

## (3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の二つのシンキングツールを活用する。

- ①イメージマップ … 吉名町を盛り上げるためのアイデアを広げる場面で用いる。
- ②ステップチャート … 企画の実現に向けた計画を立てて、見通しをもつ場面で用いる。

## 2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	地域活性化に向けて地域の特徴を生かしながら多くの人たちが連携して取り組んでいること、その人たちの思いや願いを理解している。地域活性化に関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域活性化に向けて多くの人たちが連携して取り組んでいること、その人たちの思いや願いを理解している。地域活性化に関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域活性化に向けて多くの人たちが連携して取り組んでいることを理解している。地域活性化に関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域活性化に向けて多くの人たちが連携して取り組んでいることを理解していない。地域活性化に関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いていない。
	イ 技能	プレゼンテーションソフト等を用いて、相手や目的に応じて、自分の企画が明確かつ効果的に伝わる工夫を取り入れた資料を作成することができる。	プレゼンテーションソフト等を用いて、目的に応じて、自分たちの企画が明確かつ効果的に伝わる工夫を取り入れた資料を作成することができる。	プレゼンテーションソフト等を用いて、目的に応じて、自分たちの企画が明確に伝わる工夫を取り入れた資料を作成することができる。	資料を作成する際に、自分の企画が伝わる工夫を取り入れていない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	地域の現状に問題意識をもって、そこから課題を設定し、課題解決に向けて、実現可能性や取組の効果等を加味しながら、様々なアイデアを出している。	地域の現状に問題意識をもち、そこから課題を設定し、課題解決に向けて、実現可能性を加味しながら、様々なアイデアを出している。	地域の現状に問題意識をもち、そこから課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出している。	教師の指示・助言がなければ課題を設定したりアイデアを出したりすることができていない。
	エ 活動を計画・推進する力	課題解決に向け、自分(たち)に必要な情報や準備物、解決方法や手順等を考え、時間的な見通しをもち、自発的・計画的に活動を進めるとともに、授業外でも自主的に構想を練ったり活動を進めたりしている。	課題解決に向け、自分(たち)に必要な情報や準備物、解決方法や手順等を考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めている。	課題解決に向け、自分(たち)に必要な情報や準備物、解決方法や手順等を考え、見通しをもって自発的・計画的に活動を進めている。	教師の指示がなければ計画的に活動を進めることができていない。
	オ 情報を収集する力	目的に応じて、様々な情報収集の方法を用いて、必要な情報を幅広く収集している。	目的に応じて、適切な情報収集の方法を選択し、必要な情報を幅広く収集している。	目的に応じて、適切な情報収集の方法を選択し、必要な情報を収集している。	適切な情報収集の方法を選択したり、必要な情報を収集したりすることができない。
	カ 整理・分析する力	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、自分たちの企画のよさや課題を見付けるとともに、他の情報と関係付けながら改善策を見出している。	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、自分たちの企画のよさや課題を見付けるとともに、改善策を見出している。	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、自分たちの企画のよさや課題を見付けている。	自分たちの企画のよさや課題を見付けることができない。
	キ 表現する力	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながら熱意と創意工夫が垣間見えるプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画、プレゼンテーションを組み合わせたしながら、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。さらに、相手からの質問に臨機応変に対応し、詳しく企画を説明したり自分の考えを述べたりしている。	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画、プレゼンテーションを組み合わせたしながら、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。さらに、相手からの質問に臨機応変に対応し、詳しく企画を説明したり自分の考えを述べたりしている。	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画、プレゼンテーションを組み合わせたしながら、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。	原稿をそのまま読むことに終始し、自分の言葉として語ることができていない。また、聞き手を説得するという熱意が見えない。
	ク 発想する力 工夫する力	地域の未来や社会の状況、参加者の傾向を捉えて、それを基に持続可能な視点も取り入れながら企画(アイデア)を構想している。	地域の未来や社会の状況、参加者の傾向を捉えて、それを基に企画(アイデア)を構想している。	社会の状況や参加者の傾向を捉え、それを基に企画(アイデア)を構想している。	構想している企画(アイデア)が社会の状況や参加者の傾向を無視している。
	ケ 評価する力	自己評価及び他者評価を基に、多面的に企画や制作物等を見直し、よさや課題を明らかにしながら、その都度改善している。	自己評価及び他者評価を基に、企画や制作物等を見直し、よさや課題を明らかにしながら、その都度改善している。	自己評価と他者評価を基に、企画や制作物等を見直し、その都度改善している。	自己評価及び他者評価を基に、企画や制作物等を見直せない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	課題解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても、それを学びの機会と捉え、その場で臨機応変に対応したり改善を図りながら何度も再挑戦したりして、最後までやり切ろうとしている。	課題解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合ってもその場で臨機応変に対応したり改善を図りながら何度も再挑戦したりして、最後までやり切ろうとしている。	課題解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合ってもその場で臨機応変に対応したり改善を図って再挑戦したりして、最後までやり切ろうとしている。	実社会の場で活動することをためらい、活動を進めようとしていない。
	サ 協働する力 (協調性)	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら自分の主張を通す場面と他者の意見を受け入れてサポートに回る場面とのバランスを取りながら議論を行って合意形成を図るとともに、自他のよさを生かしながら様々な立場の人たちと協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行って合意形成を図るとともに、自他のよさを生かしながら多様な人たちと協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行って合意形成を図るとともに、自他のよさを生かしながら協力して活動を進めようとしている。	自分の主張を通そうとし、他者の主張を受け入れようとしていない。また、課題解決に向けて協力しようとしていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返る中で、自分や友達の成長やよさ、地域のよさに気づき、夢や希望をもって自分の将来や地域の未来を具体的なイメージを抱きながら切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達の成長やよさに気づき、夢や希望をもって自分の将来や地域の未来を切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達のよさに気付くとともに、夢や希望をもち、自分の将来や地域の未来を切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達のよさに気付いていない。また、自分の将来や地域の未来について考えられていない。



<p>9 ～ 18</p>	<p>●祭りやイベントの実現に向けて学校運営協議会で自分たちの思いを伝えるために、準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の目的、目的達成のために学校運営協議会の委員の方に協力してもらいたいことを明確にする。</li> <li>・実現するために必要なことを考える。 祭り → 協働のまちづくりの役員との連携 児童生徒への祭りについての意識調査 等 イベント→ 費用や味等の検証のため、料理の試作 料理を出すための連携先の調査</li> <li>・学校運営協議会での提案に向けて自分たちが必要だと思う資料を作成する。</li> <li>・各グループの提案を見て、よい点や改善点を指摘し合い、それを基に提案を修正する。</li> </ul>  <p>アイデアを出し合って立案      情報収集・共有      料理イベントに向けた試作</p>		<p>(1)イ (2)オ (2)ク (2)ケ (3)サ (行動観察、 制作物、 振り返りシート)</p>
<p>19 ～ 20</p>	<p>●学校運営協議会で自分たち考えた取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの考えた取組を提案するとともに、学校運営協議会の委員の方に協力してもらいたいことを伝える。</li> <li>・質問されたことに臨機応変に対応する。</li> </ul>  <p>様々な専門家のいる学校運営協議会での提案 委員の方から厳しいご意見</p> <p>食材などの支出は？</p> <p>予定している食数が少なすぎる。 私がやったときは……</p> <p>料理の味が辛すぎる。</p>		<p>(2)キ (プレゼンテーション)</p>
<p>21 ～ 23</p>	<p>●学校運営協議会で受けた指摘を基に改善案を話し合って整理し、実行に向けて企画の修正を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々で考えた改善案を出し合い、それらを整理する。</li> <li>・企画を修正し、今後の進め方について協議する。</li> <li>・企画の実行に向けて役割分担を行い、自分に合った役割を選択する。</li> </ul>	<p>ステップチャート</p>	<p>(2)エ (2)カ (3)コ (行動観察)</p>
<p>24 ～ 25  課 外 含</p>	<p>●様々な地域のイベントを企画・運営している外部講師から話を聞く。</p>  <p>農家レストランの西野さん      イベントの企画や MC をされる山本さん</p>		<p>(1)ア (2)オ (3)シ (ワークシート)</p>

- 自分たちが考えた取組の実現に向けて、準備を進める。
- ・全体の進捗状況を確認しながら、係ごとに準備を進める。
- 運営：祭りやイベントの内容の企画、外部との交渉  
経費の計算や物品の調達 等



学校運営協議会の協力を得て、  
イベントで使うジャガイモをいただく



保健所への連絡



食材の準備・選定



会場の下見

料理：料理の開発



- ・当日の係分担を考え、役割分担をする。
- ・リハーサルを行い、改善する。



学校で生徒・教職員を対象に模擬店を実施

- 自分たちが考えた取組を実行する。



26  
～  
40

41  
～  
46

(2)エ  
(2)カ  
(2)キ  
(2)ク  
(2)ケ  
(3)サ  
(行動観察、  
制作物、  
振り返りシート)

(3)コ  
(3)サ  
(行動観察)

<p>47</p>	<p>●活動を振り返り、自分たちの成長や地域の未来について考える。</p> <p>今回の学習を通して、情報を収集する力が身に付いた。祭りに何人来るか未知数だったので過去の地域の祭りの傾向からどれぐらいの人が来るかを多変量解析をした。似たような前例があったので、その差にどのような役割を作って計画・運営をしていたのかを調べた。出店の際の様々な許可や申請などについても後にトラブルになるのを避けるためにも徹底して調べた。</p> <p>吉名町を盛り上げることができたかと言えば、一時的にならできたと思う。ただ、これを持続して続けていけるなら、いずれは、これまでにあった地域の祭りに代わる新たなイベントになるかもしれないので、今後後輩がこのイベント、または、これに似たイベントを開催してくれれば盛り上がっていくのではないかと思う。</p> <p>イベントも祭りもそうだが、一筋縄では絶対にかかないので「一発で成功させる」ではなく「なんとしてでも成功させる」という心持が大切だと感じた。最初は、「こんな無謀なことはない」と半ば諦めみたいな気持ちだったが、構想を具体的に絞っていくことでだんだんとできるんじゃないかと考えが変わり、最終的には実現まで辿り着いたことが何よりの理由になると思う。</p>		<p>(1)ア (3)シ (振り返りシート)</p>
-----------	--	--	------------------------------------